

紀要の発刊に寄せて

学長 木村 雅和

静岡理工科大学では、「豊かな人間性を基に、『やらまいか精神と創造性』で地域社会に貢献する技術者を育成する。」という理念の基に、大学としての基本的な役割である「教育」、「研究」、「地域・国際貢献」に関する諸活動を日常的に行ってきています。このような活動の成果を一定期間毎に大学として取り纏めて広く公表し、社会から評価を受けることは、社会に開かれた大学として重要な業務となっています。

静岡理工科大学の紀要では、教員の教育研究成果の学外への発表の場として、論文、研究ノート、技術報告・資料、レビュー、さらには教育関連報告などの貴重な資料を取り纏めて公表しています。この発表の場としての特徴は、素敵な発想や思いつきの紹介、誰にも制限されない自由な意見や提案の発表場所であり、特に、専門分野をサイエンス・テクノロジー・リテラシーとして、市民レベルの言葉でわかりやすく伝えることなどが挙げられると思います。

第 27 巻より、冊子媒体での発刊に代えて、学術機関リポジトリを使った電子媒体での発刊としております。学術機関リポジトリとは、「大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス」であり、大学が生産する知的情報・資料を収集・保管し、インターネットを通じて無償で公開するものです。学術機関リポジトリを構築し、オープンアクセスの進展を図ることで、収録規模の拡大、コンテンツの長期保存を実現し、教育研究の中長期的な活性化に貢献することを目的としています。

登録データは、国立情報学研究所の JAIRO-Cloud などからも検索表示することができます。

先に述べた本学の理念である、「豊かな人間性を基に、『やらまいか精神と創造性』で地域社会に貢献する技術者を育成する。」ことの具現化として、教育研究成果を地域社会に還元していくことが、本学の使命の一つになっています。そのような使命を遂行するために、本紀要が、地域の方々にとって、大いに役に立つ存在であることを願っております。

2023 年 8 月